

# RyuMIC PROGRAM 2017

## 研修医の声 プログラム「ていだ」

きたむら ゆうか  
2年目 北村 優佳  
No.5



私はRyuMICプログラム「ていだ」で良かったと思う点は2つあります。一つは大学病院と市中病院の両方の症例を経験できたことです。「ていだ」は県内の多くの協力病院で研修することができる自由度の高いプログラムです。希望すれば、様々な病院で学ぶことができる点が「ていだ」の1番の魅力だと思います。私は1年目は大学病院でローテートを始めました。大学病院では基本的な手技を経験したり病棟での業務を覚えていきました。受け持ちの症例数は多くありませんが一つひとつの症例をじっくり診ることができ、カンファレンスで鑑別をする過程や治療方法など上級医の先生方の思考過程を学ぶことができました。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目 H27	第一内科		産婦人科	麻酔科		救急 那覇市立病院		第三内科 那覇市立病院				
2年目 H28	地域医療	精神科	外科 沖縄赤十字病院	第三内科	眼科	皮膚科	産休					
2年目 H29	育休							眼科 11.30～	眼科	眼科入局 (専攻医)		

その後に市中病院のローテートとして宮古病院の救急、沖縄赤十字病院の外科を選択しました。宮古病院の救急では大学病院ではあまり診ることのできないcommonの症例に触れたり、当直を担当し数をこなすことも経験しました。

沖縄赤十字病院の外科では毎日沢山の手術に入らせてもらい、いくつかの手術では執刀することもできました。市中病院では研修医に任せてもらえる部分が多く責任も感じましたが、大切な臨床経験を積むことができましたと思います。

RyuMICプログラムのもう一つの良かった点は希望に沿ったローテーションの選択や変更が柔軟に行えることです。私は2年目の途中で妊娠し、出産後1年間の育休を取りました。妊娠中は研修予定の診療科の変更や救急の準夜勤の免除などの配慮をして頂きました。また育休の期間や復帰時期などについても希望通りに調整して頂き、サポートして下さった指導医や事務の方々にとっても感謝しています。大きな負担や不安もなくスムーズに復帰し、無事初期研修を終えることができたのは、RyuMICプログラムだったからだと感じています。後輩の皆さんにも自分の希望する選択をし、有意義な初期研修を送ってほしいと思います。